# 北部九州を中心とした住宅における食卓・卓子使用実態調査研究

Research on Using Way of Dining Tables and the Other Tables in Dwellings in the Northern Part of Kyushu

デザイン学科
車　政弘
Masahiro KURUMA

Abstract: A study of tables used in 177 "mature households" located mainly in the northern area of Kyushu has shown the following. The majority of dining tables and other tables possessed by the subject households are chair-seated tables, electric *yagura-gotatsu*, and *zataku*, although the latter two, which are a floor-seated type, make up a numerical majority. Chair-seated tables do not attain a 70% usage rate as dining tables used on a daily basis, while slightly over 30% of the households surveyed used floor-seated dining tables, i.e. electric *yagura-gotatsu* and *zataku*.
The use of electric *yagura-gotatsu* and *zataku* is very common when entertaining guests accompanied by a meal. Possible reasons for this include the absence of a chair-oriented space specifically for visitors and the prevalence of *yagura-gotatsu* and *zataku*.
Compared with the results of the survey conducted in 1996, a trend towards chair-seated tables is clear. However, the presence of two patterns for taking meals in households, i.e. chair-seated and floor-seated, and three types of tables, i.e. chair-seated tables, *yagura-gotatsu*, and *zataku*, remains unchanged.

Key Words : daily life style, dining table, low table

## 1．はじめに

日本住宅における起居様式を考えるため筆者らは1996年，関東以西の食卓の使われ方について調査結果を報告した。その結果，椅子式テーブル（旧通商産業省用語では食堂セットという。）とともにユカ坐で使用する座卓や電気やぐらごたつの併用の実態が明らかになった［注１］。現代日本住宅の食卓として椅子式テーブルが一般化したかに見えるが，同時に座卓（座敷机）や電気やぐらごたつの普及過程も考慮した上で，住まいの卓子文化全体を捉えなければならない［注２］。

椅子式テーブルの普及率は1971年で30%，1975年から1976年で50%であった。そして1990年から1991年で70%になったが，1996年の筆者らの調査では椅子式テーブルを朝食時に使用する例は61%程度であり，夕食時で52%，休日の昼食時で50%，さらに正月などでは椅子式テーブルを使用する例は30%程度で座卓や電気やぐらごたつの使用が優勢になっていた。

こうした傾向が現在でも変化していないのかという問題意識から同様の調査を行い，若干の考察を加えることが本研究の目的である。

## 2．研究方法

調査票は前回の調査と主要な点は同様である。調査総数177例である。
調査項目

1） 住宅所在地，住宅種類，形式，入居，または建設年，延床面積，同居家族。
2）食卓・卓子の種類，サイズ，部屋との対応，食卓・卓子履歴
3）住宅平面略図と食卓・卓子配置図（1/100）
4）朝食をとる部屋と食卓の特定。
5）夕食をとる部屋と食卓の特定。
6）休日の昼食をとる部屋と食卓の特定。
7）正月のお節料理をとる部屋と食卓の特定。
8）食事をともなう接客の場合の部屋と食卓の特定。
9）食卓上の付属品の有無。
10）電気やぐらごたつの使用法
11）掘りごたつについて記述設問
12）食卓に関する記述設問等である。

特に設問3の住宅平面と食卓・卓子配置図が他の設問に対する不備な回答を補う重要な項目である。

なお，末尾に付票として調査票を示す。

## 3．調査結果

### 3．1　調査対象の特性

筆者が担当する講義のレポートのひとつとして提出された調査結果である。本学に通学する学生による自宅調査という方法であるので，北部九州がサンプルの中心となる。また，調査者は大学1年次生，または2年次生であるので，父母の年齢も概ね成熟期家庭の年齢となる。具体的には図1のように福岡県がほぼ2/3を占めるサンプルである。

調査者平均年齢は女子18.8歳，男子18.7歳，父親の平均年齢50.5歳，母親47.6歳である。

住宅種類は持家（マンション含む）153例，公団公社等の賃貸住宅5例，民間の賃貸住宅13例，社宅・官舎5例，未記入1例である。

住宅形式は一戸建て146例，5階以下の集合住宅18例，6階以上の集合住宅12例，未記入1例である。

入居年または建設年は入居年を中心にみると

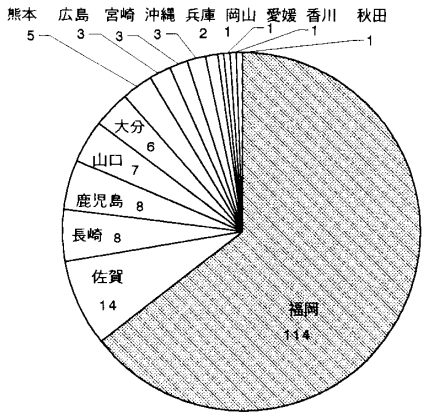



図1　調査サンプル県別

1980年代，それも1985年がピークとなっている。

延床面積は126.77㎡で，家族構成は4.48人で3世代同居が多いことが特徴である。祖父母，祖父または，祖母と同居の家庭は48例（27%）である。

持家が多いこと，また一戸建ての住宅形式が多いこと，入居または建設年が17～18年前（1984年から1985年）であること，そして比較的延床面積が広い，同居家族も3世代同居を含むなど，これらのことから，地方都市の成熟期家庭の住宅の特徴が表されていると言える。

表1　保有される食卓・卓子の種類

| 名称1 | 名称2 | 食卓1 | 食卓2 | 食卓3 | 食卓4 | 食卓5 | 食卓6 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 椅子式テーブル<br>テーブル<br>食卓テーブル<br>椅子付きテーブル<br>ダイニングテーブル<br>お膳<br>丸テーブル<br>食卓 | 椅子式テーブル | 143 | 3 | 9 | 3 | 1 | 0 | 159 |
| 電気ごたつ<br>電気こたつ<br>こたつ<br>やぐらごたつ<br>電気やぐらごたつ<br>電気やぐらこたつ | 電気やぐらごたつ | 0 | 98 | 42 | 17 | 7 | 1 | 165 |
| 座卓・おぜん<br>ユカ坐テーブル・応接台 | 座卓 | 0 | 42 | 41 | 14 | 5 | 1 | 103 |
| ソファーテーブル・応接台 | ソファーテーブル | 0 | 10 | 6 | 4 | 1 | 0 | 21 |
| カウンター | カウンター | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 掘りごたつ | 掘りごたつ | 0 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 長いテーブルユカ坐 | 長台 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 勉強机 | テーブル転用 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

### 3．2　保有食卓・卓子の種類

表1の「名称1」は調査票に記載された名称で，「名称2」はそれを括った名称である。

「食卓１」としてDKやＬＤＫに配置される椅子式テーブルをまとめた。「お膳」や「食卓」ではそれが椅子式テーブルであるのか，ユカ坐で使用する「座卓」なのかは不明だが，保有食卓のサイズや図面上に描かれた椅子などから椅子式テーブルと判断できる。その結果，椅子式テーブルは177例中143脚保有されており，81%の保有率であることが分かる。複数保有の例を含めると合計は159脚である。古くなった椅子式テーブル等は廃棄されず，転用され，配膳台や台所の物置きとなる場合がある。

「食卓2」の主なものは電気やぐらごたつと座卓である。電気やぐらごたつの保有総数は165脚，座卓は103脚で，ユカ坐の生活を支える主要なものである。この他ソファーテーブル（ソファーとテーブルを合わせ通称応接セットと呼ばれる）21例，掘りごたつ７例，カウンター２例，長台，テーブルが転用された机が挙げられる。

各家庭に平均2.59脚の食卓・卓子が保有されていることになる。

また，食卓・卓子のがどの部屋に置かれているかをみると表２のようになっている。

用語として興味深いのは椅子式テーブルが配置されている空間名称で「台所」が多く，「ダイニング」が比較的少ないことである。DK,LDKなどの用語も少ない。つまり，生活者用語としては「ダイニング」という意識より，飽くまでもそこは「台所」であり，そこに付設された食事コーナーという読み取りがあるのではないか。

「ダイニング」に較べ，「リビング」は用語として定着していることがいえよう。しかし，「居間」という日本語も健在である。「茶の間」は３例のみで，暮らしの中でかつて多用された「茶の間」は空間呼称としては使用されなくなっていることが分かる。替わりに「台所」，「ダイニング」，「居間」，「リビング」，「座敷」，「和室」という空間呼称に吸収されているのではないか。そして子供部屋，父の部屋，祖父母の部屋などプライベート・スペースに卓子がそれぞれ保有される。

表２　食卓・卓子配置室（食卓６は省略）

| 食卓1 | | 食卓2 | | 食卓3 | | 食卓4 | | 食卓5 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 台所 | 71 | 台所 | 2 | 台所 | 7 | 台所 | 3 | 台所 | 0 |
| ダイニング | 19 | ダイニング | 1 | | | | | | |
| DK | 5 | | | | | | | | |
| 食堂（食事室） | 7 | 食堂 | 1 | | | | | | |
| リビング | 24 | リビング | 42 | リビング | 8 | リビング | 1 | | |
| 居間 | 9 | 居間 | 44 | 居間 | 6 | 居間 | 3 | 居間 | 2 |
| LD | 4 | LD | 3 | LD | 2 | | | | |
| LDK | 4 | LDK | 2 | | | | | | |
| | | 洋間 | 1 | | | 洋間 | 1 | 洋間 | 2 |
| | | 茶の間 | 3 | | | | | | |
| | | 客間（応接間） | 8 | 客間（客室） | 11 | 客間 | 3 | 客間 | 1 |
| | | 座敷 | 30 | 座敷 | 30 | 座敷 | 8 | 座敷 | 3 |
| | | 和室 | 16 | 和室 | 10 | 和室 | 4 | 和室 | 1 |
| | | 個室（父，子供） | 5 | 個室（子供） | 12 | 子供部屋 | 7 | 子供部屋 | 2 |
| | | | | 自室 | 7 | 自室 | 2 | 自室 | 2 |
| | | | | 夫婦寝室 | 1 | 夫婦寝室 | 3 | 夫婦寝室 | 0 |
| | | | | 祖父母の部屋 | 4 | 祖母の部屋 | 1 | | |
| | | | | レッスン室 | 1 | | | | |
| | | | | アトリエ | 1 | | | | |
| | | | | 不使用 | 2 | | | | |
| | | | | ゲーム室 | 1 | 父の部屋 | 1 | 父の部屋 | 0 |
| | | | | | | 仏間 | 1 | 仏間 | 1 |
| | | | | | | | | 予備客用 | 1 |
| 合計 | 143 | | 158 | | 103 | | 38 | | 15 |

### 3.3　食卓・卓子使用実態

食卓・卓子の使用実態は図２のとおりである。椅子式テーブルは朝食時には67%の家庭で使用され，夕食時には64%，休日の昼食時では61%となり，正月の場合は41%となる。椅子式テーブル保有数からみると朝食時でも10数%使用しない例があることになる。この理由は椅子

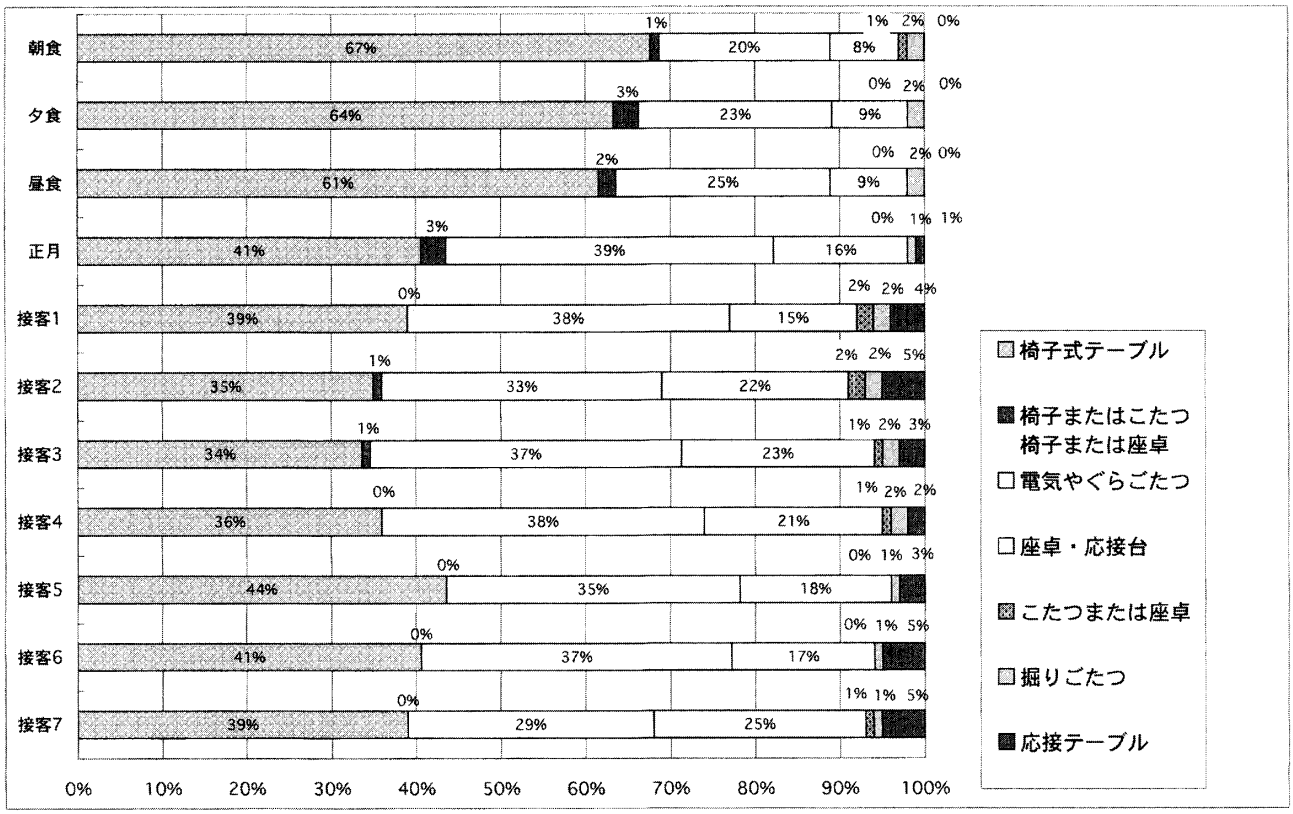



図2　食卓・卓子使用実態

式テーブルが導入された後，台所の家電製品を載せたり，配膳に使用され始め，実際には食卓として機能しなくなったためであると考えられる。

電気やぐらごたつと座卓，それに「座卓・応接台」「こたつまたは座卓」を含めると朝食時29%，夕食時32%，休日の昼食時34%，正月のお節料理が並ぶ時55%となり，日常でも30%程度の家庭でユカ坐の食事である。食事を伴う接客時に使用する食卓の種類は椅子式テーブルは比較的少なくなり，電気やぐらごたつや座卓の使用比率が高くなる。

「接客1」は別居している祖父母，おじ，おば等の親しい身内の接客の場合であり，こたつまたは座卓使用は55%である。

「接客2」はその他の親戚の接客の場合で，こたつまたは座卓使用は57%，「接客3」は父の友人・知人の接客で，こたつまたは座卓使用は61%。「接客4」は母の友人・知人の接客で，こたつまたは座卓使用は60%。「接客5」は私の友人・知人，つまり調査票に記入した学生が接客する場合，こたつまたは座卓使用は53%である。「接客6」は兄弟，姉妹の友人・知人の接客の場合，こたつまたは座卓使用は54%。「接客7」は同居祖父母の友人・知人の接客の場合，こたつまたは座卓使用は55%である。

上記のとおり接客のパターン毎に見たものであるが，接客1・2・3・4の場合と接客7の場合，椅子式テーブルが使用されるのは30%台である。つまり調査者からみて父親や母親，祖父母の世代ではこたつや座卓が使用されるパターンが多いということであり，20歳を中心とする接客5・6の場合，椅子式テーブルの使用は44%，41%と若干椅子式テーブルの使用が多くなる。

接客の場合，全体としてみればこたつ，座卓が優位であり，接客に不可欠な卓子として位置づけられていることが分かる。もともと座卓という呼称は椅子式の卓子の対語であり，座卓の系譜で見ると座敷机が以前の使われ方であり，座敷に応接

用に置かれたものである。したがってそうした座卓が接客に使用されていることは，その発生から考えても妥当なことであると言える。接客の場合，日常の食事とは異なり，別の空間に移動することも考えられるので，このような結果となるのであろう。

こうした食卓・卓子の使用実態をみると，椅子式テーブルは住宅建設時にパターンとして，LDK,DKに配置されることが概ね前提とされるが，実際には食事空間と食卓は電気やぐらごたつ，座卓を含め考慮しなければならない実態であると言える。

表3　食卓・卓子上の付属品使用実態

| | 日常的に使う | 誕生日など家族の特別な日に使う | 料理の種類で使うことがある | 接客時に使うことがある | 使わない |
|---|---|---|---|---|---|
| 布製のテーブルクロス | 24 | 10 | 5 | 16 | 103 |
| ビニルコーティングされたテーブルクロス | 28 | 1 | 2 | 4 | 108 |
| 透明ビニルシート | 22 | 3 | 3 | 6 | 109 |
| 透明ビニルシート+布 | 23 | 4 | 5 | 10 | 112 |
| ランチョンマット | 25 | 15 | 14 | 20 | 91 |
| テーブルセンター | 11 | 3 | 1 | 2 | 125 |
| 箸置き | 16 | 12 | 11 | 58 | 69 |

表3は食卓の付属品の実態をみたものである。食卓の上に布製のテーブルクロス，ビニルコーティングされたテーブルクロス，透明ビニルシート，透明ビニルシート+布，ランチョンマット，テーブルセンター，箸置きを使用するかしないかという設問である。結果は表3のとおり，「使用しない」という回答が多い。その中でランチョンマットがやや使われることが多い品目である。また箸置きは「接客時に使うことがある」で58例となっている。

表4　電気やぐらごたつの使用法

| | 電気ごたつA | 電気ごたつB |
|---|---|---|
| 2台以上ある | 5 | 2 |
| 冬のみ使用し，他の季節は片づける | 23 | 9 |
| 四季を通じて使用し，冬期のみこたつぶとんを使用する | 64 | 14 |
| 座卓とホットカーペットを併用し，こたつぶとんは使用しない | 5 | 6 |
| こたつとしてではなく座卓として年中使用 | 16 | 7 |
| 家にはあるが，ここ数年使用しない | 8 | 4 |

表4は電気やぐらごたつをどのように使用しているのか把握するための設問であるが，「四季を通じて使用し，冬期のみこたつぶとんを使用する」というパターンが多いことが特徴である。また「冬のみ使用し，他の季節は片づける」がその次で，電気やぐらごたつの旧来の使用法である。そして「こたつとしてではなく座卓として年中使用」という回答も比較的多い。これは電気やぐらごたつが「こたつ」という表現から「座卓」の表現に変化，発展したためである（注3,4）。

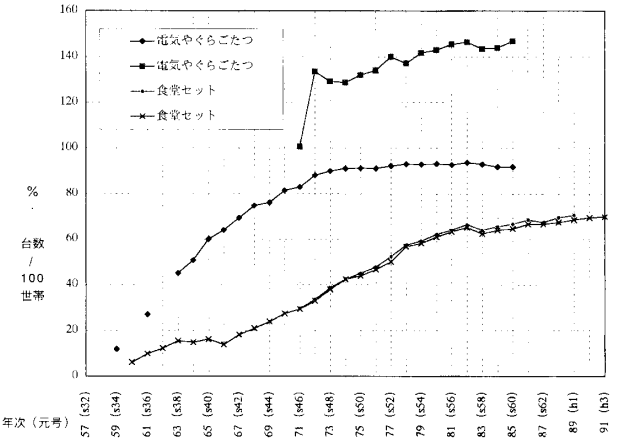



図3　椅子式テーブル（食堂セット）と電気やぐらこたつの普及率と100世帯当たり保有数（経済企画庁・消費動向調査より作成）

図3は電気やぐらごたつと食堂セット（椅子式テーブルと椅子）の普及過程を平成3（1991）年まで見たものであるが，上述の食卓・卓子使用実態を裏付けるものである。つまり，電気やぐらごたつの普及の方が食堂セットの普及をはるかに上回るスピードであった。このことが住空間におけるユカ坐，イス坐の2重性をもたらしたということができる。しかも電気やぐらごたつは「座卓」としての表現，つまり全体が「こたつ」という採暖具から「座卓」としての形態をそなえ，豊かな木質感や漆を頂点とする各種塗装技術の向上が図られ，ユカ坐の卓子としての役割を担うに到ったことが要因として考えられる。

これまで筆者は日本住宅における食卓が近代化過程でどのように変化してきたのかをいくつかの論文で考察してきたが，現時点で図式化してみると図4のように捉えることができる。

銘々膳から共用の食卓，チャブ台への変化が近代日本の第一段階にあり，それは都市の勤労者層

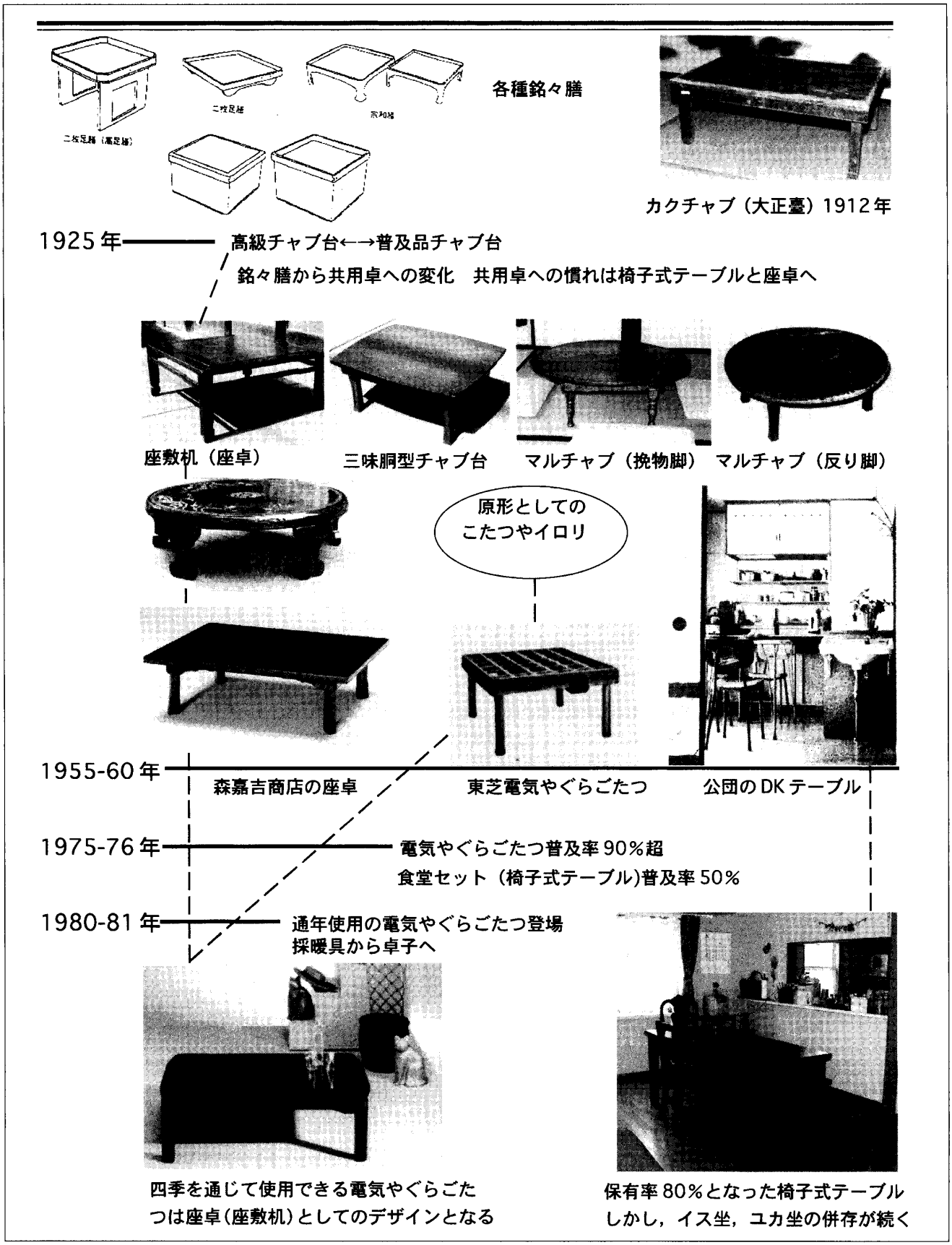



図4　日本住宅における食卓・卓子の変遷

から普及していった。そのチャブ台の実態は脚を折り畳むことができるものから，シタンやカリンのような唐木の卓子を含むものであった。折り畳みの脚をもつ「マルチャブ」や「カクチャブ」、そして三味胴チャブ台などの形態があった。こうした共通の食卓を使用することを経験することによって，食堂セット，つまり椅子式テーブルへの移行もあまり無理を伴わなかった。

しかし一方，座敷机としての高級チャブ台の系列はそれまでの座敷の景観を変え，座敷中央に配置される卓子として定着していった。

そして，やぐらごたつは採暖具として，その熱源を炭団や木炭，練炭から電気へと変化させ，急速に家庭電化の波の中で普及し，昭和55-6（1980-1981）年頃から，通年使用できる座卓としての形態に変化し，それまでの座卓と同様の形態を整え，家庭に定着したのである。

椅子式テーブルの受容は，実のところユカ坐のこたつや座卓との併用を前提として可能になったという言い方ができるのではないだろうか。

## 4．結言

北部九州を中心とする177例の成熟期家庭の食卓使用実態調査の結果，次のことが明らかになった。保有食卓・卓子は椅子式テーブルと電気やぐらごたつ，座卓が主要なものであり，保有数としてはユカ坐で使用する食卓・卓子の方が優位である。日常の食卓として椅子式テーブル使用は70%に達していない。30%強の家庭ではユカ坐の食卓，すなわち電気やぐらごたつまたは座卓が使用される。

食事をともなう接客では電気やぐらごたつや座卓の使用比率が高い。このことは外来者を想定したイス坐の空間が成立していないことと，電気やぐらごたつや座卓の普及過程が先行し，定着していることが理由として考えられる。

調査サンプルの特性が異なるので，大きな変化があったとまでは断定できないが，1996年の調査結果と比較すると，椅子式テーブル使用の増加傾向は認められる。

しかし，依然として住居における食事の起居様式としてイス坐とユカ坐の2種類があり，使用される卓子は椅子式テーブルと電気やぐらごたつ，座卓の3種類が主なものであり，住文化は過去と現在が混在するものであり，異文化受容も欧米とまったく同様のパターンとはならず，例えば座卓のように中国様式の翻訳が近代化過程で大きく作用し，それが今日の住まい方に影響をあたえているのである。

## 付記

この小論の主要な部分は　日本デザイン学会第50回研究発表大会で口頭発表したものである。

車政弘，日本住宅における食卓の使用実態調査研究，デザイン学研究，日本デザイン学会第50回研究発表大会概要集pp. 130-131，2003

## 注

1）車　政弘，石丸　進，植田啓司，坪郷　英彦，現代日本住宅の食卓と食事空間の調査研究2，デザイン学研究，第43回研究発表大会概要集，p.67，1996

2）車政弘，他，近・現代日本住宅における食卓・膳のデザインと食事空間の調査研究，『助成研究の報告6』，（財）味の素食の文化センター，pp.45-51，1996

3）車政弘，意匠登録にみる電気やぐらごたつのデザイン開発，デザイン学研究第46回研究発表大会概要集，pp.210-211,1999

4）車　政弘，食卓の変遷と電気やぐらごたつ，日本生活学会編，生活学第26冊　住まいの100年，ドメス出版，pp.89-112，2002

## 食卓・電気やぐらこたつの使われ方に関する調査

ダイニングキッチンが誕生してほぼ 45 年が経過しましたが、実際の食卓使用の実態を把握するためには、電気やぐらこたつの使用実態をあわせて、捉える必要があるという問題意識からこの調査を実施します。データは統計的に処理しますので、皆さんのプライバシーに触れることはありません。

九州産業大学芸術学部デザイン学科　車　政弘
〒813-8503　福岡市東区松香台 2-3-1　tel：092-673-5742

以下の質問はすべて、あなたの実家についてのものです。

自宅通学者は自宅について、その他の人は帰省先の住居について答えて下さい。

1）住宅の所在地・種類・形式、同居のご家族について記入して下さい。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 所在地 | （　　）都・道・府・県　（　　）市・郡　（　　）区（　　）町・村 | | | | | | | | |
| 住宅の種類（○印をつけて下さい） | a.持家（マンションを含む）　b. 公団・公社等の賃貸住宅　c.公営の賃貸住宅<br>d.民営の賃貸住宅　e.社宅・官舎　f.その他（　　） | | | | | | | | |
| 住宅の形式 | a.一戸建て　b.テラスハウス・タウンハウス等の連続建て　c.5 階以下の集合住宅<br>d.6 階以上の集合住宅　e.その他（　　） | | | | | | | | |
| 入居年、または建設年 | 入居年（　　）年　建設年（　　）年 | | | | | | | | |
| 延床面積 | （　　）$m^2$ または（　　）坪 | | | | | | | | |
| 同居家族 | 記　入　例 | | | | | | | | |
| | 母 | 私 | | | | | | | |
| | 男・女 | 男・女 | 男・女 | 男・女 | 男・女 | 男・女 | 男・女 | 男・女 | 男・女 |
| | 45 歳 | 19 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 |

2）あなたの家には食卓（椅子式テーブル、お膳、応接台、座卓、電気やぐらこたつ、掘りごたつ等）は何脚ありますか。それぞれの呼び名、大きさ（幅×奥行き×高さ）、使用される部屋、食卓や卓子の使われ方の変化や、食卓の来歴など食卓の履歴を書いて下さい。（一見座卓で、実は電気やぐらこたつの場合があります甲板裏面を確かめて下さい）

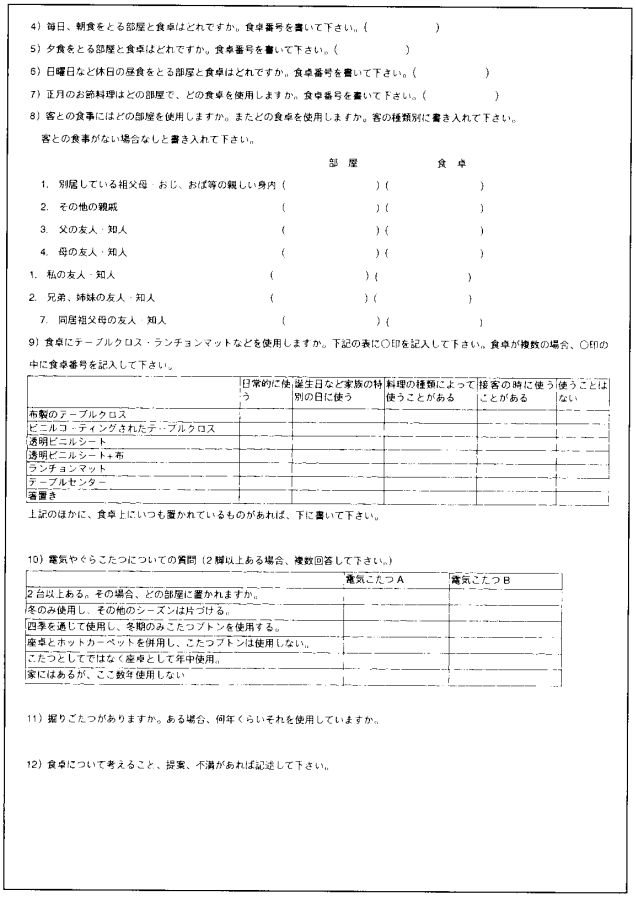
| 食卓番号 | 名称 | 大きさ（cm）<br>幅、奥行き、高さ | 使用する部屋 | 購入・入手年、食卓等の履歴 |
|---|---|---|---|---|
| 例 1 | おぜん | 80×135×67 | 台所 | 91 年に買い換えて、前のおぜんは物置台として使用。<br>祖母が来たとき、私の座る位置が変わる。 |
| 例 2 | 電気ごたつ | 80×80×36 | 座敷 | ぼっきりしないが、15 年くらい前からある。<br>夏も同じ部屋で使用する。 |
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |

調査票 1

3）あなたの住宅の平面図を描いて下さい。縮尺は 1/100（1cm マスが 1m でも 90cm でもよい）程度で描いて下さい。

部屋名、あるいは主な使用目的、部屋の広さ、和洋の別を例えば「夫婦寝室・8 畳・和室」のように書いて下さい。食卓、食卓用椅子、食器棚、サイドボードの類、飾り棚、収納棚、居間・客間用のテーブル・座卓の類、ソファ・・安楽椅子の類、座椅子、TV、電話機の配置を記入して下さい。最後に方位を示して下さい。

調査票 2



4）毎日、朝食をとる部屋と食卓はどれですか。食卓番号を書いて下さい。（　　）

5）夕食をとる部屋と食卓はどれですか。食卓番号を書いて下さい。（　　）

6）日曜日など休日の昼食をとる部屋と食卓はどれですか。食卓番号を書いて下さい。（　　）

7）正月のお節料理はどの部屋で、どの食卓を使用しますか。食卓番号を書いて下さい。（　　）

8）客との食事にはどの部屋を使用しますか。またどの食卓を使用しますか。客の種類別に書き入れて下さい。

客との食事がない場合なしと書き入れて下さい。

| | 部屋 | 食卓 |
|---|---|---|
| 1. 別居している祖父母・おじ、おば等の親しい身内 | （　　） | （　　） |
| 2. その他の親戚 | （　　） | （　　） |
| 3. 父の友人・知人 | （　　） | （　　） |
| 4. 母の友人・知人 | （　　） | （　　） |
| 1. 私の友人・知人 | （　　） | （　　） |
| 2. 兄弟、姉妹の友人・知人 | （　　） | （　　） |
| 7. 同居祖父母の友人・知人 | （　　） | （　　） |

9）食卓にテーブルクロス・ランチョンマットなどを使用しますか。下記の表に○印を記入して下さい。食卓が複数の場合、○印の中に食卓番号を記入して下さい。

| | 日常的に使う | 誕生日など家族の特別の日に使う | 料理の種類によって使うことがある | 接客の時に使うことがある | 使うことはない |
|---|---|---|---|---|---|
| 布製のテーブルクロス | | | | | |
| ビニルコーティングされたテーブルクロス | | | | | |
| 透明ビニルシート | | | | | |
| 透明ビニルシート＋布 | | | | | |
| ランチョンマット | | | | | |
| テーブルセンター | | | | | |
| 置き | | | | | |

上記のほかに、食卓上にいつも置かれているものがあれば、下に書いて下さい。

10）電気やぐらこたつについての質問（2脚以上ある場合、複数回答して下さい。）

| | 電気こたつA | 電気こたつB |
|---|---|---|
| 2台以上ある。その場合、どの部屋に置かれますか。 | | |
| 冬のみ使用し、その他のシーズンは片づける。 | | |
| 四季を通じて使用し、冬期のみこたつブトンを使用する。 | | |
| 座卓とホットカーペットを併用し、こたつブトンは使用しない。 | | |
| こたつとしてではなく座卓として年中使用。 | | |
| 家にはあるが、ここ数年使用しない | | |

11）掘りごたつがありますか。ある場合、何年くらいそれを使用していますか。

12）食卓について考えること、提案、不満があれば記述して下さい。

調査票3